



と い で の

校訓 「自立・創造・敬愛」

4月1日よりホームページが移転・リニューアルしました。ブックマークの変更や再登録をお願いします。



高岡市立戸出東部小学校
令和5年7月19日発行

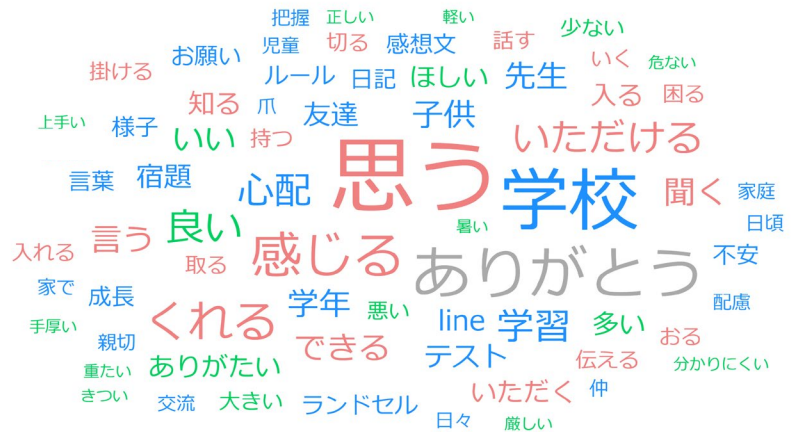
プラスの言葉を力に変えて

教頭 渋谷 圭祐

- ・日頃から、大変お世話になりありがとうございます。上学年のお兄さんやお姉さんが、下の学年の子たちの面倒を見て、とても可愛いがってくれています。学年の垣根を越えて助け合い、仲のよい姿が見られてとてもいい校風だな、と感じます。児童数は少ないものの、それをうまく逆手に取り、アットホームで雰囲気の良い学校だと思います。
- ・子供たちがのびのびと学校で過ごすことができていると思います。先生方が工夫を凝らしてくださっていることに感謝しています。ありがとうございます。
- ・いつも手厚いサポートをしていただき、ありがとうございます。心配していた以上に勉強を頑張っている姿を見て、少し安心しました。今後も何かと手がかかるとは思いますが、引き続きよろしく願いいたします。
- ・いつもありがとうございます。息子は先生の話や学校の話をよくするし、よく考えて行動しているなあと思うことが多いです。息子の成長とも思えますが、担任の先生が丁寧に子どもたちに向けて話をしてくださっているのだろうな、ということを感じています。学習参観で授業の様子を見たときも、それぞれの子供たちに合わせて進めるペースを変えたり、個別に声をかけて下さったりしている様子を見てありがたく思いました。

これらは、先日までご協力いただいた、学校評価の自由記述の一部です。このような言葉だけではなく、他に「なるほど」と思うご指摘やご意見を踏まえ改善をしていかなければならない宿題もたくさん預かりました。すべてをこの紙面で紹介することはできませんが、しっかりと受け止めて、検討していきます。

右の資料は、テキストマイニングという手法を用いて、自由記述のご意見を出現頻度に基づきAIによって分析し視覚化したものです。「ブラック」「定額働かせ放題」と形容されることもある教員の仕事ですが、保護者からの数々のプラスの言葉から愛を感じるとともに、私たちの活力や元気の源となっています。貴重なご意見として大切に受け止め、今後の教育活動に生かしていきたいと考えています。



また、1学期の間に来校された他校教員や大学教授、文部科学省教育課程調査官、ゲストティーチャーとして招いた民間企業の方等、多くの外部の方からも、児童や教職員、学校に対する評価をいただく機会がありました。皆さんが口々に、他校にはない本校のよさを、率直に、そして具体的に伝えてくださいました。そのたびに、プラスの言葉というのは、やりがいや喜び等、受け取る側にとっていかに大きな力に変わっていくのかを実感します。そして、子供に最前線に関わる私たち教職員は、子供のプラスの部分や成長した部分をたくさん見付け、言葉豊かに伝えていきたいという思いを強くしています。

さて、明日からは保護者会。子供たちの成長した部分や頑張っていることを、担任からたくさん聞き取っていただきます。余談ですが、私も娘の通知表を初めて受け取ります。文章や記号の意味をしっかりと読み解き、頑張った部分を見付け、プラスの言葉で褒めてやりたいと思っています。プラスの言葉は、必ず前進につながります。またそれが、課題を克服していく力に変わっていくと確信するからです。